

2022(令和4)年度 沖縄国際大学一般選抜試験問題

【選択科目：倫 理】

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 入学志願票及び受験票に記入された科目を解答すること。
3. 入学志願票及び受験票に記入された以外の選択科目を解答した場合は、無効とする。
4. 筆記用具は、鉛筆（HB）または、0.5 ミリのシャープペンシル（HB）に限る。
5. 問題の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
6. 問題冊子の余白等は適宜利用してもよい。
7. 試験終了後、解答用紙のみを提出すること。問題冊子は持ち帰ること。

2022(令和4)年度 沖縄国際大学一般選抜試験問題

【倫 理】

※ 解答はすべて解答用紙に記入すること。

I. 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

紀元前 12 世紀ごろから、ドーリア人の侵入によって混乱を続けたギリシア世界は、前 8 世紀ごろまでにアテネやスパルタを中心に数百のポリスを形成してようやく安定した。このポリス形成期の前 9 世紀ホメロスは ^a 叙事詩『イリアス』『オデュッセイア』で、前 8 世紀ごろヘシオドスは **A** のなかで、天地自然の成り立ちと神々の系譜や英雄の物語など、神話と現実が入り混じった世界解釈を示した。

前 7～6 世紀、ミレトスのタレスが、^b 万物の根源は **B** であるとして、のちに自然哲学の祖と言われることになる。かれは、神話的な世界解釈をはなれて、ものの本質や原理を科学的・合理的に考察する学問的態度（テオリア）を示した。

サモス島に生まれた **C** は、その名の定理で知られるようにギリシア数学を基礎づけた一人であり、万物は数から構成されているとした。魂の不死や輪廻思想などももっていた。

エフェソスに生まれたヘラクレイトスは生活面、思想面ともに孤高を保ち、「自分自身を探究して、すべてのことを自分自身から学んだ」と言ったとされる。その思想は人生論的な要素を含み、難解で厭世的であることから、**D** とも呼ばれる。万物流転説を述べ、根源を **E** であるとした。

前 5 世紀、アブデラに生まれた **F** は、原子論を唱えた。原子とは、それ以上分割できない物体で、その無数の原子の結合・分離によって世界は構成されるとし、古代の自然哲学の終局をなした。

問 1 下線部 a に登場するオリンポスの神々の名前とその性格の組み合わせとして誤っているものを(ア)～(オ)から一つ選びなさい。(2 点)

- | | | |
|-----------|---|---------|
| (ア) ゼウス | － | 主神 |
| (イ) ポセイドン | － | 海の神 |
| (ウ) アレス | － | 商業の神 |
| (エ) アポロン | － | 太陽・芸術の神 |
| (オ) アテナ | － | 戦争・知恵の神 |

問2 空欄 **A** に入る書名として最も適切なものを(ア)～(オ)から一つ選びなさい。(2点)

- | | | |
|------------|------------|-------------|
| (ア) 『形而上学』 | (イ) 『神統記』 | (ウ) 『自然と恩恵』 |
| (エ) 『打倒論』 | (オ) 『神学大全』 | |

問3 下線部 b の原語をカタカナ四文字で記入しなさい。(3点)

問4 空欄 **B** 、空欄 **E** に入る語として最も適切なものを(ア)～(キ)からそれぞれ一つずつ選びなさい。(各2点)

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| (ア) 空 | (イ) 地 | (ウ) 水 | (エ) 無 |
| (オ) 天 | (カ) 火 | (キ) 光 | |

問5 空欄 **C** 、空欄 **F** に入る人名をそれぞれ記入しなさい。(各3点)

問6 ヘラクレイトスと思想的に対立した哲学者として最も適切なものを(ア)～(オ)から一つ選びなさい。(2点)

- | | | |
|------------|---------------|-------------|
| (ア) ゴルギアス | (イ) アナクシメネス | (ウ) エンペドクレス |
| (エ) パルメニデス | (オ) アナクシマンドロス | |

問7 空欄 **D** に入る語として最も適切なものを(ア)～(オ)から一つ選びなさい。(2点)

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| (ア) 「笑う哲学者」 | (イ) 「働く哲学者」 | (ウ) 「怒る哲学者」 |
| (エ) 「眠る哲学者」 | (オ) 「泣く哲学者」 | |

問8 前5世紀の哲学者プロタゴラスが述べた「人間は万物の尺度である」という言葉の意味を60字以内で説明しなさい。(6点)

Ⅱ. 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

1971 年、アメリカの政治哲学者（ ① ）は『正義論』を公表した。その著書の中で、自由競争によってアメリカ社会にもたらされた格差や不平等をなくすために（ ① ）は「（ ② ）としての正義」という原理を提唱した。（ ① ）はまず原初状態を想定し、そこから人々が採用するはずのルールを導き出した。そのルールとは、各人が平等で対等な権利をもつことが必要であり、その上で、社会的な不平等が許されるのは、不平等がすべての人の利益になることが予期され、すべての人に平等な機会が与えられる場合に限られるというものだった。

（ ① ）の『正義論』は基本的に先進国の格差や不平等を対象としていた。よりグローバルな社会における不平等の問題に対応するため、（ ① ）の正義論を批判的に継承したのが、インドの経済学者（ ③ ）である。（ ③ ）は、『（ ④ ）と飢餓』という著書において、特に発展途上国における（ ④ ）問題を厚生経済学によって分析し、1998 年にノーベル経済学賞を受賞した。（ ③ ）によれば、（ ④ ）問題を解決するためには、（ ① ）が主張したような方法では不十分である。というのも（ ① ）は、格差の解消のために、権利や金銭などの集合である基本財を分配することを主張したが、それだけでは発展途上国の人々は自立した生活を営むことができないからである。そこで（ ③ ）は、「読み書きができる」、「病気をさけることができる」、「栄養を満たせる」などの、人間が達成することが可能な機能の集合としての（ ⑤ ）が、すべての人に公平に分配されるべきだと主張した。

問 1 上の文章中の（ ① ）から（ ⑤ ）に最もよくあてはまる人名または語句を記入しなさい。（各 2 点）

問 2 下線部の原初状態について、（ ① ）はどのような状態を想定したか。60 字以内で説明しなさい。（6 点）

Ⅲ. 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

ソシュールの言語学の影響を受けて、第二次世界大戦後のフランスでは、社会や文化の深層に、人々が無自覚に従っているシステムや法則を発見し解明しようとする考え方が大きな影響力をもった。この考え方は（ ① ）と呼ばれた。（ ① ）を代表するのが、神話や未開社会の分析をした人類学者（ ② ）である。（ ② ）は未開社会の親族関係を、言語やコミュニケーションのプロセスとして分析した。そして、未開社会に見られる近親相姦の禁止というルールが、他集団と女性を交換することによって自集団の消滅を防ぐというシステムから導かれたものだとして主張した。しばしば未開社会は科学的な文明に比べて劣っているものと見られがちであるのに対して、（ ② ）は、未開社会にも一定の規則に基づいた厳密で論理的な思考、すなわち「（ ③ ）の思考」があることを示した。

（ ② ）とともに（ ① ）を代表するのが、哲学者（ ④ ）である。「言説」や「権力」などの概念をつくったことで知られる（ ④ ）は、1961年に公表した『（ ⑤ ）の歴史』において、ヨーロッパの歴史のなかで（ ⑤ ）がどのように扱われてきたのかを分析した。16世紀、（ ⑤ ）はあたりをうろつき回るもの、日常的に出会うものだった。17世紀になると、ヨーロッパに監禁施設が創設されはじめ、（ ⑤ ）をもつ人々は、浮浪者や浪費家などの秩序を乱す者たちと一緒に監禁施設へと排除されることになる。18世紀になって、こうした監禁施設は非人道的かつ非経済的であるとして解体され、閉じ込められた人々も解放されるが、（ ⑤ ）をもつ人々だけが、家族や社会にとって危険なものとして拘束されねばならないことになった。

問1 上の文章中の（ ① ）から（ ⑤ ）に最もよくあてはまる人名または語句を記入しなさい。（各2点）

問2 下線部の「権力」概念のうち最もよく知られているのは、近代社会が、教育や学校などを通じて、人間を型にはめ規格化し、社会秩序に適合するタイプにつくりかえるような権力である。その権力とは次のうちどれか、最も適切なものを次の(ア)～(オ)の中から一つ選び記号で答えなさい。（1点）

(ア) 服従権力

(イ) 権威権力

(ウ) 規律権力

(エ) 生権力

(オ) 支配権力

Ⅳ. 次の各文章を読んで、後の問いに答えなさい。

- (A) 明治維新後、欧米の近代思想を取り入れることで、旧来の封建的な制度や慣習から脱した理性的な人間観を広めようとする啓蒙運動が起った。^(ア)森有礼の結成した(①)は、この運動において中心的役割を果たした団体である。この団体には、「哲学」、「主観」、「客観」、「理性」など多くの訳語を作った(②)、実学を通じて(③)自尊の精神を身につけるべきであると説いた福沢諭吉、ミルの『自由論』などを翻訳して個人主義道徳の普及に尽力した(④)らが参加した。
- (B) 日本における女性解放運動は、明治前半の自由民権運動に(a)や景山英子らが参加し、女性の権利を訴えたのが始まりである。明治の終わりには(b)が青鞥社を結成し、機関紙『青鞥』の創刊号において「元始、女性は実に(⑤)であった」と宣言した。女性は家や男性に従属するものであるという封建的道德から女性自身が脱しなければならぬと訴えるとともに、大正期には(c)らと新婦人協会を設立して女性(⑥)権獲得運動を展開した。
- (C) 西洋哲学の輸入から始まった日本の哲学は、次第に、東洋思想や日本の伝統に根ざして西洋哲学を主体的に受け止めるようになった。自身の坐禅体験を通して西洋哲学に向き合った西田幾多郎は、『(⑦)』において、(⑧)未分の状態である^(イ)純粹経験がまず先にあり、そこから自己と対象が発展すると説いた。また、西田から影響を受けた和辻哲郎は、西洋の個人主義的な人間観に対抗して、人間は^(ウ)間柄的存在であると主張した。

問1 上の各文章(A)～(C)の(①)～(⑧)に入る最も適切な語句あるいは人名をそれぞれ答えなさい。(各2点)

問2 下線部(ア)の森有礼の主張として最も適切なものを、以下の(ア)～(エ)のうちから一つ選びなさい。(1点)

- (ア) 人民は専制的な政府に対して抵抗する権利をもつ。
- (イ) 武士道の精神は日本にキリスト教が根づく土壌となる。
- (ウ) 結婚は男女同権の一夫一婦制でなければならない。
- (エ) 新しい国民道德の土台は儒教でなければならない。

問3 文章(B)の(a)～(c)に入る人名を、以下の(ア)～(キ)のうちからそれぞれ一つずつ選びなさい。(各1点)

- | | | | |
|----------|----------|-----------|------------|
| (ア) 大下尚江 | (イ) 市川房枝 | (ウ) 伊藤野枝 | (エ) 平塚らいてう |
| (オ) 岸田俊子 | (カ) 大杉栄 | (キ) 与謝野晶子 | |

問4 下線部(イ)の純粹経験の具体例として**適切でないもの**を、以下の(ア)～(エ)のうちから一つ選びなさい。(1点)

- (ア) 軽音部のAさんは、緊張すると言っていたのが嘘のように、文化祭のライブでギターの演奏に没入していた。
- (イ) 友人が呼びかけても気づかないほど、Bさんはお気に入りのアーティストの新曲に聞き入っていた。
- (ウ) ダンスの練習中のCさんは、全身鏡を見ながら自分の体の動きを入念にチェックしていた。
- (エ) 幼いDくんは、帰ろうという母親の呼びかけに応えることなく、一心不乱に砂遊びをしていた。

問5 下線部(ウ)の間柄的存在はどのような人間観を表しているか。60字以内で説明しなさい。
(6点)

V. 次の用語は、ニュースでもよく取り上げられる用語です。各用語の意味を説明しなさい。

(各3点)

(1) NPO

(2) SDGs

(3) LGBT

(4) デジタルデバイド

(5) NEET

Ⅵ. 次の文章を読んで、空欄①～④に入る最も適切な語句を下記の【語群】から選び記号で答えなさい。(各1点)

アメリカの心理学者エリクソンは、人生を8つの節目からなる〔 ① 〕として、人間の発達段階をとらえた。8つの発達段階それぞれに次の段階に成長していくために達成すべき心理・社会的テーマがあると考え、これを〔 ② 〕と呼んだ。青年期の〔 ② 〕とは、〔 ③ 〕の確立であると言われている。〔 ③ 〕は、もがき、悩み、試行錯誤を繰り返しながら確立していく。エリクソンは、青年期を大人としての責任と義務が猶予され、自分の可能性を試してみることを社会によって容認されている時期として、〔 ④ 〕と呼んだ。

【語群】

- | | | |
|-----------------|--------------|-------------|
| (あ) 第二反抗期 | (い) 心理的離乳 | (う) 第二の誕生 |
| (え) 心理社会的モラトリアム | (お) 発達課題 | (か) マージナルマン |
| (き) 防衛機制 | (く) 進化 | (け) 反動形成 |
| (こ) アイデンティティ | (さ) イニシエーション | (し) コンプレックス |
| (す) コンフリクト | (せ) パーソナリティー | (そ) ライフサイクル |